

学期	前期	学年	1年生	学科	プライダルビューティー	コース	ブライダルプランナー、ブライダルメイク
講師	山田花子	授業科目	ブライダル模擬	形態	演習	教室	501教室
曜日	月曜日	時限	1~6	コマ数	90		
授業内容 授業方法	〇〇資格に添った演習授業を進めます。1~7回目までは講義を中心とし、8~14回目まではこれまでの知識を実習によって習得をする。						
到達目標	ブライダルコーディネート検定合格を目指す。						
講師 実務経験	プランナーとして●年の経験があり、これまでに●●組以上の挙式に携わってきた。接客やマナーや礼儀作法なども含め、指導者としても、これまでに●●人のプランナーを養成してきた。社会人として即戦力で働ける姿勢などを授業で身に付けていく。						
目指す 資格	ブライダルコーディネート検定3級		指定検定	○			
			指定検定				
			指定検定				

check 1

授業の内容・方法や進め方を具体的に記入してください。

check 2

この授業の意義、学生に身に付けて欲しい事柄について、授業目的(ねらい)を具体化してください。

check 3

どのような実務経験を活かして、担当する授業科目や授業計画を行うか明記してください。

check 4

毎回の授業テーマもしくは授業予定を記入してください。

■授業テーマ・授業予定
15回(週)に分けた上で、毎回の授業テーマ・授業予定を記入。
最終回は定期試験を設定してください。

回数	月日	授業計画	実施内容
1	月 日	<p>シラバスとは</p> <p>【教員にとっては】</p> <p>①シラバスは、教員が体系的な教育課程を踏まえ、学生の視点を考慮して、授業設計をするためのものです。教員は、シラバスを作成することで、その授業で、学生の学力向上のために、何を、どこまで、どの程度、どのように教えるかを明確にできます。</p> <p>②シラバスは、授業設計の観点からは、PDCAのP(計画)に相当します。その後、実際にシラバスにそって運用され(D)、適切に評価され(C)、評価に基づいて年々更新・改善される(A)ものです。このように、シラバスを実際に活用してみて、学生の学習意欲と学力向上の状況を確認しながら、だんだんと質を高めていく姿勢が大切です。</p> <p>③シラバスは、教員と学生の「約束」であり、教員は授業に責任を持ちます。</p> <p>【学生にとっては】</p> <p>①シラバスは、学生がその授業について知り、理解をするためのものです。学生は、シラバスを見て、自分が何のために何をどのように学び、何ができるようになるかを明確化し、具体的にイメージすることができます。</p> <p>②学生は、シラバスにより、教員が学生に期待するものを理解し、学習意欲が高まり、効果的な学習を進めることができます。</p>	
2	月 日		
3	月 日		
4	月 日		
5	月 日		
6	月 日		
7	月 日		
8	月 日		
9	月 日		
10	月 日		
11	月 日		
12	月 日		
13	月 日		
14	月 日		
15	月 日		

check 5

授業時間外における自己学習(予習、復習)の内容及び方法をできるだけ具体的に記入してください。

check 6

※非常勤講師は授業終了後に受け付ける旨、明記してください。

check 7

初回の授業で使用するもの(学生自身で準備が必要なもの)をご記入ください。サイズ等詳細に明記してください。

授業時間外の学習	最終授業までに教科書および参考書をすべて読み終えること。次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。授業の最初に前回授業内容の小テストを毎回実施するので、復習しておくこと。				
教材 教科書	ブライダルコーディネート検定テキスト				
初回持ち物	ファイル(A4サイズ)・ノート(ルーズリーフ可)				
評価基準(%)					
定期試験(筆記)	定期試験(実技)	その他	その他の評価内容	平常点(講師)	平常点(出席)
70%				20%	10%

check 8

■評価基準
①評価配分しない項目は空欄とする。
②評価基準(その他)に評価配分した場合は、「その他の評価内容」欄に具体的な内容を記入すること。
③「定期試験」は15回目に必ず実施し、各項目の合計を評価配分は70%に設定してください。

※万が一、天災、交通機関の不通などにより休講になりましたら、後日、コマ数を確保します。
※夏休み・冬休み前、試験前にそれまでのコマ数の1/5(20%)を超えて休んだ場合は、補習を受け1/5以上にしなければ期末試験を受けられません。